

就職支援活動

Career Development

1. 学生支援総合センター 就職推進部門の取り組み

学生の皆さんにとって充実した学生生活を保証することを目的とした学生支援総合センターには、就職推進部門が設けられ、就職推進課が学生の就職活動を支援しています。就職推進課では、学生が自信をもって自らの進路を決定し、その希望を実現できるように各学部就職担当と連携しながら、以下のような支援事業を企画実施しています。

- 履歴書・エントリーシートや面接の指導
- 学生への求人情報提供や各種就職に関わる相談・支援
- 企業や公務員への就職を希望する
学生のための就職ガイダンスの開催
- 企業を対象とした求人開拓と情報収集
- 学内企業個別説明会の開催
- ジョブ・フェア（大学主催の企業合同説明会）の開催
- 初年次からのキャリア形成を目的とする
科目開講やインターンシップの推進



学生支援棟



就職ガイダンス

2. 各学部の就職支援体制

教育文化学部

就職情報室を設置し、就職に関するデータを収集整理するとともに専門員が随時就職相談に応じています。

エントリーシートや志望動機の手書き指導、小論文や面接の練習については、就職委員が個別にじっくりと対応しています。

医学部

医学科

医師免許取得後2年間は、プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得を目指して、各科のスーパーローテーション研修（臨床研修制度）が義務付けられます。研修先はマッチング登録により自由に選択できますが、本学科では附属病院内に卒後臨床研修センターを設置して初期研修並びに専門医研修のきめ細かいサポートを行っています。また、研修に関する説明会も年数回行っており、卒業生や各科専門医からのアドバイスを受け取る機会を設けています。

保健学科

看護学専攻では、4年次のチュートリアル担当教員が学生個々の進路の相談・支援にあたっています。また、就職・進学支援担当教員を3名配置し、就職施設の選択や病院見学会、採用試験情報の提供など、学生の進路決定を支援する体制をとっています。

また、理学療法学専攻、作業療法学専攻では、4年次の担任を中心として就職・進学に関する相談を受ける体制を整えています。

工学資源学部

各学科に就職担当教員を置き、学生の就職指導に当たるとともに、就職資料室を設置して就職に関する情報を提供しています。